

火ひと

女子競輪界でプロ選手として活躍する

杉沢

毛伊子さん
(厚原)



プロスポーツ選手に憧れていた杉沢さんは、大学卒業後に勤めていたジムで出会った競輪の望月永悟選手の人間性にひかれ、また、女子競輪復活の話の聞き、競輪を始めました。自宅から職場までの往復約100キロメートルを自転車を通い、練習に励み、昨年5月、念願の競輪学校に入学。「常に練習に打ち込める最高の環境でした。落車の恐怖心よりも、自転車が好きで、楽しいと感じていました」と練習の厳しさを感じさせない明るい表情で話します。ことし3月、卒業試験に合格し、4月にはプロ選手として登録。5月にデビューし、これまでに1着を3度獲得しました。「初レースでは、ようやくこの舞台に立てたことをうれしく思い



大好きな自転車で力走する杉沢さん

ました。また、初めて1着を獲得した日が『母の日』でもあり、真っ先に母への感謝の気持ちがあふれました。家族やファンの声援などに支えられ、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も練習を積み重ね、次の勝利を目指したいです。そして、人間的にも成長していきたいですね」と謙虚な姿勢で語る杉沢さん。今後の活躍が楽しみです。



夏の暑い日差しを受け、美しく花びらを広げて咲く

ハスの花



蓮宗代通寺では、多くの人の目を楽しませるため、ハスの花を栽培しています。境内には、80種類、150株の鉢に植えられたハスを、間近で見ることがができます。平成13年から栽培を始め、「ミセスローカム(上写真)」という品種の、黄色に薄紅がかかった一輪の花が初めて咲きました。

住職の橋爪一能さん(大淵)は「ハスの花は、太陽が上ると同時に3時間かけて徐々に花が開き、11時ごろから花が閉じていきます。そのため、9〜10時ごろに、開いた花を見ることがができます。ハスは気温が高くなるほど育ちがよく、水の補給、害虫の駆除など手入れは大変ですが、花びらが一枚一枚順番に開いて、天に向かって力強く

蓮宗代通寺では、多くの人の目を楽しませるため、ハスの花を栽培しています。境内には、80種類、150株の鉢に植えられたハスを、間近で見ることがができます。平成13年から栽培を始め、「ミセスローカム(上写真)」という品種の、黄色に薄紅がかかった一輪の花が初めて咲きました。



毎日、朝夕欠かさず水やりをする住職夫妻

咲く姿は美しく、ほかに類がありません」と話します。

花の見ごろである7月初旬〜8月末に「蓮まつり」が開催され、7月21日には「蓮の華を楽しむ会」が行われます。ことしも7月初めごろから咲く、紅や白、まだらなど、色とりどりのハスを見に、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

HAPPY PHOTO'S

我が家のアイドル



佐野 莉衣奈ちゃん (松岡)
H24.10.15生

「伝法と石坂のいじ、ばあ。いつもありがとう!大好きだよ!」



横田 一樹ちゃん (蓼原)
H25.3.2生

「初めての花火、どんな反応するかな?」



影山 玲緯ちゃん (松本)
H24.3.28生

「お誕生日ケーキにご機嫌。CMに出られそうでしょ?」

★我が家のアイドル大募集!!

あなたの子どもの写真(顔全体が写っている横写真)とコメントを大募集!!詳しくは広報広聴課まで。

☎(55)2700 〆(51)1456
kouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp